

**MD(日本うつ病学会)
CT(日本認知療法・
認知行動療法学会)
[共催セッション]
プログラム**

共催セミナー1~14

共催シンポジウム 1~4

共催市民公開講座

共催セミナー1

2021年7月8日(木) 10:10~11:10

第5会場「313+314」

COS1 How do we Differentiate Bipolar from Unipolar Depression?

座長 櫻井 準 杏林大学医学部精神神経科学教室

演者 Andrew Nierenberg

Dauten Family Center for Bipolar Treatment Innovation / Depression and Clinical Research Program / Center for Clinical Research Education

共催 エーザイ株式会社

共催セミナー2

2021年7月8日(木) 10:30~11:30

第6会場「315」

COS2 新規抗うつ薬の薬理特性から考える薬物療法
～歴史的展開と臨床経験を踏まえて～

座長 岩田 仲生 藤田医科大学医学部精神神経科学講座

演者 村崎 光邦 CNS薬理研究所 / 北里大学

共催 塩野義製薬株式会社 / 日本イーライリリー株式会社

共催セミナー3

2021年7月8日(木) 12:00~13:00

第5会場「313+314」

COS3 双極性障害の薬物療法アップデート –波から尻へ–

座長 井上 猛 東京医科大学精神医学分野

演者 加藤 正樹 関西医科大学精神神経科学教室

共催 大日本住友製薬株式会社

共催セミナー4

2021年7月8日(木) 12:20~13:20

第6会場「315」

COS4 うつ病に併存する睡眠障害とその対応

座長 川崎 弘詔 福岡大学医学部精神医学教室

演者 鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系

共催 MSD株式会社

共催セミナー5

2021年7月8日(木) 14:10~15:10

第6会場「315」

COS5 うつ病患者の復職に向けた残遺症状に対する臨床における対応のイロハ

座長 功刀 浩 帝京大学医学部精神神経科学講座

演者 堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室

共催 ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

共催セミナー6

2021年7月8日(木) 16:40～17:40

第5会場「313+314」

COS6 メンタルヘルス対策とウェルビーイング向上を目指す 認知行動変容アプローチ

座 長	井上 和臣	医療法人内海慈仁会内海メンタルクリニック／認知療法研究所
演 者	大野 裕	一般社団法人認知行動療法研修開発センター／ストレスマネジメントネットワーク
共 催	武田薬品工業株式会社／ルンドベック・ジャパン株式会社	

共催セミナー7

2021年7月8日(木) 18:30～19:30

第5会場「313+314」

COS7 不安症状・抑うつ状態への対応! ～先ず、どの症状にフォーカスすべきか?～

座 長	川崎 弘詔	福岡大学医学部精神医学教室
演 者	渡部 芳徳	医療法人慈泉会市ヶ谷ひもろぎクリニック
共 催	田辺三菱製薬株式会社／吉富薬品株式会社／持田製薬株式会社	

共催セミナー8

2021年7月8日(木) 18:50～19:50

第6会場「315」

COS8 気分障害とアルコール

座 長	樋口 進	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター
演 者	井上 猛	東京医科大学精神医学分野
共 催	大塚製薬株式会社	

共催セミナー9

2021年7月9日(金) 11:30～12:30

第5会場「313+314」

COS9 うつ病のリカバリーへの道 ～認知行動療法の考え方を活かせるか～

座 長	三村 将	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
演 者	菊地 俊暁	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
共 催	ヴィアトリス製薬株式会社／大日本住友製薬株式会社	

共催セミナー10

2021年7月9日(金) 10:30～11:30

第6会場「315」

COS10 双極性障害に対する薬物治療の最新のエビデンス

座 長	馬場 元	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック
演 者	岸 太郎	藤田医科大学医学部精神神経科学講座
共 催	大塚製薬株式会社	

共催セミナー11

2021年7月9日(金) 9:40~10:40

第5会場「313+314」

COS11 気分障害に併存する不眠症に対する治療戦略
～レンボレキサントの臨床的意義を含めて～

座 長	寺尾 岳	大分大学医学部精神神経医学講座
演 者	高江洲 義和	琉球大学
共 催	エーザイ株式会社	

共催セミナー12

2021年7月9日(金) 12:20~13:20

第6会場「315」

COS12 Moving beyond symptom remission to full functional recovery of patients with MDD

座 長	井上 猛	東京医科大学精神医学分野
演 者	Pratap Chokka	University of Alberta
共 催	武田薬品工業株式会社／ルンドベック・ジャパン株式会社	

共催セミナー13

2021年7月9日(金) 14:10~15:10

第6会場「315」

COS13 うつ病治療の現在とこれから

座 長	鈴木 健文	山梨大学医学部精神神経医学講座
演 者	加藤 正樹	関西医科大学精神神経科学講座
共 催	Meiji Seika ファルマ株式会社	

共催セミナー14

2021年7月9日(金) 16:20~17:20

第5会場「313+314」

COS14 ADHDと双極性障害

座 長	松本 英夫	東海大学医学部総合診療学系精神科学
演 者	岩波 明	昭和大学医学部精神医学講座／昭和大学附属烏山病院
共 催	東和薬品株式会社	

共催シンポジウム1

難治性うつ病の背景にあるAD/HD

2021年7月8日(木) 13:50～15:50

第5会場「313+314」

【趣旨・狙い】

成人期注意欠如/多動症(AD/HD)では、うつ病等の精神疾患との併存が多く、併存疾患との鑑別診断が重要であるとされているが、うつ病等の併存疾患を主訴として受診される場合、隠れているAD/HDを見落とされている可能性がある。

また、成人期AD/HD患者の約半数が何らかの精神疾患の併存症を有することが報告されており、併存症の存在が診断の困難さに大きく影響するだけでなく、治療に対しても影響を与え、難治性うつ病と診断される患者さんの一部には背景にAD/HDを併存している場合がある。

更に、うつ病単独に比べAD/HDを併存している場合、患者さんの疾病負担が増えることもいわれている。

そのため、本シンポジウムでは、各演者からAD/HDとうつ病を併存した患者の特徴と鑑別診断や疾病負担、さらにはインパクトと対応を紹介していただき、うつ病を併存する成人期AD/HDを適切に診断・対応するために必要な事柄について議論を深めたいと思う。

座 長 水野 雅文 東京都立松沢病院

COSY1-1 **AD/HDとうつ病を併存する患者の特徴と鑑別診断**

小坂 浩隆 福井大学医学部病態制御医学講座精神医学

COSY1-2 **ADHDを合併するうつ病の疾病負担**

伊賀 淳一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

COSY1-3 **うつ、不安、強迫におけるADHD併存のインパクトと対応
ー難治性との関連を中心にー**

松永 寿人 兵庫医科大学精神科神経科学講座

共 催 塩野義製薬株式会社 メディカルアフェアーズ部／
武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス

共催シンポジウム2

双極性障害うつ症状の治療における薬物治療のコンセンサス

2021年7月8日(木) 16:00～18:00

第6会場「315」

【趣旨・狙い】

双極性障害の治療においては、躁症状に対する薬物治療については選択肢も多く比較的治療に迷うことは少ないのに対し、うつ症状に対する薬物治療についてはいまだ議論の対象となることが多い。双極性障害のうつ症状には、我が国では主に非定型抗精神病薬等が用いられるが、選択肢は限られ、患者ごとにこれらの薬物を選択するのに迷うことが少なくない。双極性障害の新しい治療ガイドラインが発表されているこの学会で、最新の知見をもとに臨床とエビデンスの各側面から検討を行いながら、双極性障害のうつ症状に対する最適な薬物治療の道標を本シンポジウムで示したい。

座 長 松尾 幸治 埼玉医科大学医学部精神医学／埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

COSY2-1 **治療に繋がる双極性障害(抑うつエピソード)の診断のポイント**

田中 輝明 KKR札幌医療センター精神科

COSY2-2 共同意思決定(Shared Decision Making: SDM)による双極性障害治療戦略
高江洲 義和 琉球大学

COSY2-3 Evidenceに基づく双極性障害の薬物治療
岸 太郎 藤田医科大学医学部精神神経科

共 催 共和薬品工業株式会社／吉富薬品株式会社

共催シンポジウム3

Cognition Cafe：認知機能の最前線と双極性障害の新しい治療の実践

2021年7月9日(金) 13:20～15:20

第5会場「313+314」

【趣旨・狙い】

双極性障害における認知機能障害は、思考、集中力、記憶の問題を含み、日常生活機能や社会的機能の低下に繋がる重要なファクターの一つです。

認知機能障害を適切に捉え、治療していくことは、患者の臨床転帰を変える可能性があります。患者個々の症状の異質性、また併存症及び残存症状によって複雑化されるため、臨床現場において認知機能に着目した治療戦略を検討することはしばしば困難です。

本シンポジウムは、Cognition Cafeと題し、双極性障害、及び精神疾患の認知機能における国内外の専門家が、その知識と経験に基づいた議論を、認知機能に関する臨床疑問に答える形で行います。

シンポジウムにご出席頂くことで、精神疾患における認知機能障害の最前線を理解し、臨床現場で認知機能に着目した診療／治療を実践する手助けになることを期待しています。

座 長 加藤 忠史 順天堂大学医学部精神医学講座

COSY3-1 Cognition Cafe 認知機能の最前線と双極性障害の新しい治療の実践
Lakshmi N. Yatham University of British Columbia, Canada
Eduard Vieta University of Barcelona, Spain

共 催 大日本住友製薬株式会社 メディカルアフェアーズ部

共催シンポジウム4

うつ病における認知機能障害の評価－日常診療への応用を目指して－

2021年7月9日(金) 16:00～18:00

第6会場「315」

【趣旨・狙い】

うつ病患者における記憶、注意、処理速度など認知機能の低下（認知機能障害）は、抑うつ症状が寛解した後でも高頻度に認める。このような認知機能障害の残遺は、復職・復学など社会復帰を困難にし、真のリカバリーを妨げる要因となる。こうした中、うつ病など気分障害の認知機能障害を対象とした評価法や介入法に関する知見が、国内外で蓄積されつつある。一方、うつ病の認知機能障害に対する当事者および医療者の関心は、本邦においてはこれまで低かったように思われる。

本シンポジウムは、うつ病における認知機能障害の啓発および治療をテーマとし、日常診療における認知機能障害の可視化にも資する測定法に焦点を当てる。この点について、エキスパートの先生方に最近の研究動向を紹介いただくとともに、うつ病患者の認知機能を評価する際の留意点や課題について、参加者を交えた意見交換の場としたい。

座 長

住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

COSY4-1 うつ病における認知機能障害と臨床

馬場 元 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院／順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

COSY4-2 うつ病患者の認知機能を多角的に捉える評価方法

橋本 直樹 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

COSY4-3 うつ病の症状評価における主観と客観のズレ

内田 裕之 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

COSY4-4 臨床研究で使用されている認知機能評価のこれから
～デバイス、社会認知機能評価まで～

堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室

共 催

武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス／
ルンドベック・ジャパン株式会社 メディカルアフェアーズ部

共催市民公開講座

困難を乗り越えるーうつや不安への対応ー

2021年7月10日(土) 17:00~19:00

配信のみ

【趣旨・狙い】

うつ病を含む気分障害と診断された人は、約20年前に比べると約2.5倍に増加し、100万人程度と報告されています。また、WHOは各疾患の健康生活支障度をDALYsでランク付けしていますが、その中でうつ病は、2030年には健康な生活を傷害する疾患・外傷の第1位になると予測されています(The global burden of disease 2004)。

また、現在ご存知の通り、全世界に被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症は、うつ病を含む気分障害の患者さんの日常生活にも影響を及ぼしており、その対策が課題になっています(Gunnell D他2020)。

本講座では、このような状況下における物事の捉え方や困難を乗り越える考え方について、うつや不安の対処法も含めて皆さまと共に考える機会にしたいと思います。

座 長

樋口 輝彦 一般社団法人日本うつ病センター
 神庭 重信 一般社団法人日本うつ病センター／飯田病院／九州大学
 三村 将 日本うつ病学会／慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

挨 拶

渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

COL-1

どん底からの抜け出し方～引き算の縁と足し算の縁～

笠井 信輔 フリーアナウンサー

COL-2

災害を乗り越えるためにーこころのケアと日本人

高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター

COL-3

こころを元気にする4つのステップ

大野 裕 一般社団法人認知行動療法研修開発センター／ストレスマネジメントネットワーク

共 催

塩野義製薬株式会社／日本イーライリリー株式会社